

図書館ミーティング第2弾を開催しました

図書館
ミーティング
開催報告

マジミエ図書館Z第2弾！

「話そう、みんなでこれからの図書館」

7月17日（土） 午後1時～3時

図書館3階自習室 参加者 22名

講師 岡本 真氏（アカデミック・リソース・ガイド株式会社代表取締役）

ワーク
ショップ

高校生から80代の
市民の方が発表して
くれました！

一人ずつ、1枚のシートと色違いの筆記用具を持ってスタート。2人1組になって、話し手が「私が考えるこれからの図書館」について語り、聞き手がその話し手のシートに書き留める。これを、相手を替えながら3セット繰り返すというワークショップを実施しました。

自分の言葉が相手にどう伝わるのかを確認しながら、自分の考えを整理するこのワークショップ。参加者のみなさんが考える「これからの図書館」を語っていただきました。

例えば図書館でテーマ・お題を発信、そのテーマでの“しゃべり場”“読書会”などがあれば、SNS発信もよいのでは。

温度のある言葉でもって人から人へ伝えられる、交流・意見交換の場に図書館がなれたら。

場所としては一極集中しつつ、機能は雑居型になっていることで、人の回流が起こり地域活性化も見込めるのでは。

このプロジェクトを実現するための手立ては、実現の道筋を作らないと。

文化ホールや温泉施設、飲食店など同じ敷地内にあり、一日自由に行き来しながら過ごせたら。



岡本さんからのアドバイス

いずれ、必ず、“選択”は迫られるもの。

市民ミーティングで出てきた多様な意見・アイデアは現時点では切り捨てない。

【Want】→【Why】それが図書館である必要性・意味。図書館は、知的欲求を
保証するもの。

【Who】→誰が、は“市民”であるべき。自治体の当事者であり“投資家”。
ただし昔のような“市民（住民）運動”でやっていた署名活動などはダメ。当
時は投票率も非常に高く、政治・行政として動く基盤となったが、今は違う。
→【How】に続く。

【When】タイミングとしては、来年市制施行 100 周年は狙い目。今後こうい
ったものを持ちたい、こういった事業を進める、という起点に相応しく考えや
すい。

【How】コストとして誤って切り捨てたものも、検証の上で戻してみる、とい
ったこともあり。産（業）官学民、それぞれがプレイヤーとなって関わり、一
体となって取り組むことが重要。（例：デンマーク、和歌山市・泉大津市におけ
る南海）

→良い提案を作って投げかける。実現することにプラスに感じられれば、物事
は動くもの。

橋本館長

岡本さんのアドバイスを受けて、学びと実践の場をたくさん作っ
ていきたいと考えていますが、8月の視察は中止となりました。

次回、図書館ミーティングは10月16日（土）の予定ですが、
その他の企画も決まり次第、ホームページでお知らせします。

随時、チェックしてみてください。図書館のいろいろな取り組み
も知ってもらえると思います。



当日の資料や、積極的な意見交換は、毎回多くの気づきがあります。
図書館のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

お問い合わせ：岸和田市立図書館 072-422-2142

